

四十八期

担当
者
衣笠 陽雄

崇仁親王三年式年祭「墓所式外拝礼」に
参列して

高橋幸子

殿下のお声が、聞こえてくるようでした。明治記念館での卯月会の集まりの折、陸軍士官学校同期生の方々と、まるで青年のように、肩をたたいて握手をし、再会を喜んでおられた殿下の笑顔が、脳裏に甦つてきました。三笠宮殿下を最後に陸士四十八期生は、全員鬼籍に入りました。殿下をはじめとする我々の父、叔父達、日本の戦中戦後を支えた四十八期生の方々の心は、私達にも次の世代にも必ずや引き継がれていくことでしょう。豊島岡の緑の森を吹き渡る一陣の風が、頬にやさしい秋の夕暮れでした。

令和元年10月27日、豊島岡墓地の御門は、いつもと違い大きく開けてありまし

た。三笠宮殿下三年式年祭のご案内を戴きました弘田代表はじめ9名の卯月会会員は、入口での荷物検査の後、墓地内にある休憩所へ向かいました。心静かに参拝の時を待つておりますと、思いがけず百合子妃殿下が、坂下宮務官と一緒にお出ましになりました。一同起立し、妃殿下にご挨拶申し上げますと、妃殿下は、私たちや皆様方それぞれに、丁寧にお言葉をおかけ下さいました。妃殿下の気品ある美しいお姿と、優しいお言葉に、只々有難く、心より妃殿下の、ご健康とご平安をお祈りいたしました。

その後案内されました崇仁親王の御墓所は、青と白の幕に囲まれ美しく荘厳に整えられておりました。「やあ、やあ。みんな来たのかい」そんなお元氣な崇仁



崇仁親王三年式年祭墓室(01年10月27日/豊島岡墓地)

卯月会代表の「挨拶

弘田雅敷

この度、卯月会代表を勤めることになりました弘田雅敷です。一言ご挨拶させていただきます。

卯月会は陸軍士官学校第48期生の同期生会であり、三笠宮崇仁親王殿下が在籍されたことで特別な期でもありました。この卯月会は士官学校卒業生が正会員、奥様が準会員という構成で長年活動をしてまいりました。正会員の高齢化が進み活動の主体を二世に引き継ぐとのことで衣笠陽雄君が事務局長として就任しました。その後、衣笠君の呼びかけにより正会員の子息、子女が集い卯月会を続けております。

3年前に三笠宮崇仁殿下は薨去されましたが百合子妃殿下がお元気でいらっしやいますので二世の私たちにも心強い限りです。

私の実父村瀬文敷の弟が、村瀬卓爾で48期に在籍しておりました。村瀬卓爾はノモンハンで偵察機に乗っていて戦死しましたが独身だったため後を引う人は私の父を含め兄弟だけでした。私が自衛隊に奉職し空挺団に所属したことで48期生の衣笠駿雄(衣笠陽雄君のご尊父)初代空挺団長の知遇を得て卯月会に招かれたことや現衣笠事務局長と防衛大学校同期であることから卯月会の活動に参加させていただいております。

現在卯月会は三笠宮殿下の薨御に伴います豊島岡墓地での斂葬の儀、一年祭や

今年10月27日の三年祭に参列させたい
ただいでおります。写真は三年祭参拝時
の集合写真です。

現在「三笠宮伝記」の陸軍将校時代の
まとめを衣笠事務局長が作成しておりま
す。今後は三笠宮殿下のご功績を知り称
える活動や卯月会会員の「戦前・戦後を
歩んだ人生」について紹介しそれを会員
相互に共有できれば正会員・準会員の皆
様の思いの一部でもかなうのかなと考え
ております。

今後の私共二世の活動にご指導を賜れ
ば幸いです。よろしくお願いし
いたします。



皇仁親王三年式年祭基所式外参礼(台)10/27(皇孫御和)